

過去10年間の気候について

Weather 2002~2011

(宇部アメダス日最低/最高気温・日雨量の集約表)

Year Day	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9
2002															
	29.7	30.5	30.6	29.9	29.9	32.3	32.9	32.0	31.6	33.2	30.8	31.8	31.0	31.0	30.8
	26.2	26.0	26.0	25.9	26.3	26.2	26.3	26.6	26.7	27.2	25.0	27.1	26.9	27.3	27.1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2003 前線・台風10号															
	28.4	28.3	26.9	24.6	27.4	28.9	27.6	29.2	29.3	29.6	30.4	30.0	29.2	29.6	27.6
	21.2	20.5	20.8	23.9	23.0	21.7	21.7	25.0	25.6	25.4	26.0	26.4	21.9	22.4	22.7
	0	0	0	106	1	0	0	0	0	0	0	0	48	39	0
2004 台風10号															
	29.8	30.9	33.8	34.0	34.6	35.1	26.4	27.2	28.5	28.5	29.6	30.2	30.7	30.1	30.0
	25.9	26.1	25.2	26.0	25.4	24.8	24.7	24.1	24.7	23.7	24.3	26.0	25.6	26.4	26.4
	0	0	0	0	0	4	52	8	0	1	0	0	0	0	0
2005															
	30.9	29.9	29.7	29.5	29.5	28.3	28.4	28.9	30.0	29.9	30.2	29.8	29.8	28.1	29.7
	23.8	22.6	24.0	26.0	25.2	23.3	25.1	26.0	25.2	25.4	25.1	25.9	25.4	25.5	25.9
	0	0	0	0	15	35	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2006															
	28.4	29.0	32.7	32.1	31.5	33.0	29.6	29.8	31.1	31.2	30.4	30.5	31.3	33.4	31.8
	23.3	24.2	24.9	25.0	26.1	24.7	24.1	26.2	26.2	25.1	25.4	25.9	25.6	25.6	26.1
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007 台風5号															
	31.1	33.6	32.2	31.7	30.0	29.0	29.3	30.8	29.2	28.0	28.0	29.3	29.1	29.0	29.7
	25.7	25.3	26.5	25.0	22.8	20.6	23.0	23.9	23.9	24.1	24.0	24.7	25.0	25.3	25.1
	0	0	0	0	0	0	89	17	0	0	3	1	0	0	0
2008															
	31.4	31.5	34.7	34.8	34.6	33.8	34.6	31.9	32.9	33.4	33.3	31.6	31.6	30.0	31.3
	26.5	27.3	26.6	27.5	28.0	27.1	26.1	27.6	27.1	26.7	25.8	24.3	26.3	25.3	25.5
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5	0
2009 前線															
	25.2	29.6	27.2	27.4	29.9	28.7	28.6	29.3	29.2	31.8	29.8	30.3	31.2	31.5	28.8
	22.4	22.1	23.0	22.8	22.5	23.4	23.2	23.3	23.7	24.3	23.5	26.2	26.8	26.3	24.7
	97.5	0	2.5	5.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.5
2010															
	30.4	30.4	27.1	29.3	30.2	34.0	33.8	31.9	31.9	31.9	31.9	32.0	31.5	31.8	31.0
	25.3	25.3	25.2	24.6	25.7	25.6	26.5	26.0	27.0	27.4	27.4	26.5	26.3	26.2	25.6
	0	0	1.5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
2011															
	29.5	28.8	30	33.7	32.3	32.3	29.7	30.3	31	31.7	31	28.4	29.5	30	30.1
	24.9	25.3	24.6	23.9	26.4	25.4	24.3	26.1	25.7	25.8	25	25.3	26.1	25.5	25.7
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11.5	0.5	0	0
Year Day	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9

[凡例] 数値上段 : Temperature (max)

数値中段 : Temperature (min)

数値下段 : rainfall (mm/day)

※各日のお天気マークは、降雨量・気温等から推定したものである。

平成23年(2011年)のきらら博記念公園の気象データ

	外気温					外気風速					降雨 mm/d
	最大℃	時刻	最小℃	時刻	平均℃	最大m/s	時刻	最小m/s	時刻	平均m/s	
7月16日	32.8	15:00	26.9	5:00	30.0	5.2	17:00	1.1	4:00	3.6	0.0
7月17日	33.5	17:00	28.2	5:00	30.9	3.7	11:00	0.9	4:00	2.0	0.0
7月18日	33.1	14:00	28.9	6:00	30.9	6.1	15:00	0.8	6:00	2.8	0.5
7月19日	32.3	1:00	28.2	5:00	30.2	7.7	0:00	2.3	1:00	4.9	12.2
7月20日	29.0	9:00	26.0	0:00	27.5	9.5	15:00	2.7	22:00	6.8	0.0
7月21日	29.7	12:00	25.8	5:00	27.3	7.8	17:00	2.6	0:00	5.2	0.0
7月22日	32.1	16:00	25.0	23:00	27.8	5.7	18:00	1.6	1:00	2.6	0.0
7月23日	34.2	14:00	23.8	4:00	28.1	5.3	18:00	1.2	7:00	2.7	0.0
7月24日	30.1	15:00	23.7	5:00	27.7	5.0	0:00	0.8	8:00	2.9	0.0
7月25日	29.3	15:00	27.2	6:00	28.4	7.9	1:00	3.0	6:00	5.8	0.0
7月26日	31.0	13:00	27.9	3:00	29.2	7.9	19:00	2.7	0:00	5.7	0.0
7月27日	30.5	14:00	27.8	6:00	29.1	5.8	13:00	1.2	22:00	3.3	0.0
7月28日	31.8	16:00	27.9	5:00	29.8	5.6	15:00	0.4	0:00	2.4	0.0
7月29日	37.5	13:00	26.8	5:00	31.4	5.0	17:00	1.0	7:00	2.6	0.0
7月30日	36.9	13:00	27.3	4:00	31.4	5.1	14:00	0.6	5:00	2.7	0.0
7月31日	35.4	16:00	27.6	5:00	30.6	5.2	17:00	0.9	13:00	2.4	0.0
8月1日	32.1	15:00	26.8	5:00	29.5	5.7	18:00	0.9	2:00	2.8	0.0
8月2日	31.8	12:00	29.2	2:00	30.1	6.5	17:00	2.8	7:00	4.9	0.0
8月3日	32.3	14:00	28.9	3:00	30.2	7.4	17:00	3.0	7:00	5.6	0.0
8月4日	32.8	16:00	28.1	5:00	30.8	5.5	13:00	1.6	4:00	3.7	0.0
8月5日	32.8	12:00	27.5	4:00	30.4	7.7	20:00	1.0	3:00	4.5	0.0
8月6日	30.8	11:00	28.2	13:00	29.7	11.9	19:00	6.4	14:00	8.5	6.9
8月7日	31.0	11:00	29.1	23:00	30.1	12.7	18:00	6.6	4:00	9.5	0.0
8月8日	30.9	14:00	28.9	6:00	29.7	9.8	2:00	2.0	20:00	6.3	0.0
8月9日	31.4	13:00	29.1	3:00	30.3	6.1	15:00	0.7	22:00	3.0	0.0
8月10日	38.2	16:00	29.4	5:00	32.0	4.8	19:00	0.5	7:00	2.5	0.0
8月11日	37.3	15:00	28.0	5:00	31.8	4.9	16:00	0.6	4:00	2.5	0.0
8月12日	37.6	15:00	28.4	3:00	32.3	4.5	17:00	0.4	4:00	2.3	0.0
8月13日	33.1	14:00	27.3	6:00	30.1	5.7	15:00	0.4	1:00	2.0	0.0
8月14日	31.7	13:00	27.9	4:00	30.1	6.9	16:00	0.4	23:00	2.8	0.0
8月15日	32.2	12:00	28.6	3:00	30.0	5.6	14:00	0.7	0:00	2.4	1.0

猛暑日

熱帯夜

第16回日本ジャンボリー（平成25年開催）の大会の医療体制（案）

(2012.07.17 現在)

〈場内医療体制について〉

大会本部の安全・救護部は、大会開催時の疾病・けが・運営上の事故の発生を予防し、安全対策と予防措置およびその対処につとめ、場内で発生する傷病者に備え「救護所」を設置する。

救護所の運営については、ボーイスカウト加盟員からの医師、看護師の医療従事者等を募集(40~50人)し、日本連盟医療チームの協力を仰ぎながら臨時の診療所を開設する。参加者の活動時間帯に応じた各救護所や生活の場である各サブキャンプを通じて傷病者の対応にあたり、万が一の事態に備え会場周辺の医療機関と連携をはかる。

会場の特性である強い直射日光や高温による日焼け・熱中症・食中毒等、および水辺のプログラム等活動に応じた傷病に備えるとともに、今大会は、23WSJ日本開催を見据え、外国参加者への対応と従前より長い会期での体調と心の維持管理に取り組む。

会場内における処置については大会経費(参加費)で賄われ、会場外の病院では利用者負担とする。

〈場内施設の概要〉

中央救護所(仮称) (無床診療所の開設申請予定)

キャンプ生活が困難な傷病者を受け入れ、会場内で可能な限りの医療処置を行う。手術や複雑な処置が必要な場合は近隣の病院へ搬送する。

太陽の丘北側の休憩棟、オートキャンプ管理室(127.41㎡)と展示室(125.45㎡)を診療スペースと休憩スペースとして利用予定。

参加者入場前日からスタッフ退場日までとなる7月30日(火)から8月9日(金)の間24時間体制で開設を検討中。

場内各所と場外の関係機関との連絡のために、電話、FAX、携帯電話、無線機等の通信設備を従前並みに備えるように検討中。

ハブ救護所(仮称)

比較的軽症な状態の治療を行う。隊指導者の応急処置の許容を超え、「ファミリードクター」診療室として機能する。診療所と休憩所として約50㎡のテントを2張り程度を準備し、参加者が持参するインシュリン等の医薬品を保存するための冷蔵設備を備える。

参加者の生活地域の拠点となるハブ(仮称)3か所(参加者2か所、スタッフ1か所)に設置を予定し、生活時間帯の6時~9時、17時~21時の間で開設を検討中。 ※23WSJではハブの数に応じて4か所

プログラム救護所(仮称)

プログラム実施場所の拠点として1か所程度の設置、プログラム実施日の9時~17時の間で開設を検討中。

アリーナ救護所(仮称)

開閉会式等の全体行事実施日・時間帯およびにプログラム救護所としても機能させるためプログラム実施日・時間帯の開設を検討中

〈場外搬送体制〉

場内の傷病者や急を要さない場外への搬送のために業務用車両(レンタカー)を配備する。また、陸上自衛隊による傷病者搬送を支援依頼する予定。

緊急時の搬送に備えて、山口市消防本部および所轄消防署との連携をはかる。

ヘリ等を使用する広域搬送の必要があれば、周囲の医療施設の状況を踏まえて調整したい。

〈傷病者の予測〉

- 参加予定者15,600人に対し、延べ1,800人~2,100人(受診率約12%~13.4%)
- 炊事用燃料を薪から液化ガスに変更予定のためナタによる外傷は減少する見込み
- 会場の気象条件から熱中症・脱水等が増加する見込み(14NJ時380件、受診率1.8%)

〈支援依頼内容〉

● 無床診療所の臨時開設支援

開設者について、山口県連盟から医師である加盟員保護者（山口大学医学部付属病院教授）の推薦があり、調整中。

加盟員による開設者が難しい場合に、開催地周辺の医療機関もしくは医師による届出（山口大学病院、山口の県立病院、市民病院、医師会、日赤、近隣の病院）

医薬品・診療材料等の手配支援、医療廃棄物処理への協力

● 傷病者の受入

二次救急と会場内での診療範囲を超える患者の受入について、会場と施設の位置関係と診療科目に応じて調整したい

傷病者の受入等医療機関の協力について山口市を通じて山口市医師会および吉南医師会へ打診済み

● 傷病者の搬送

救急車（および消防車）の常駐・待機について山口市を通じて山口市消防本部へ打診済み

会場内の医療体制がまとまり次第、細部の調整を行う予定

【関係機関への協力依頼】

名称	担当	内容
山口県健康福祉部、山口健康福祉センター		大会の医療体制、臨時診療所開設への指導助言 臨時診療所開設手続き
山口大学病院、山口の県立病院、市民病院、医師会、日赤、近隣の病院		臨時診療所の開設（開設者について調整中）
近隣の病院		診察材料手配、傷病者の受入等
山口県医師会		場外プログラムを含む県内全域での活動に対する会員への周知
山口市医師会		傷病者の受入（内諾済み）
山口市歯科医師会		傷病者の受入
吉南医師会		傷病者の受入（内諾済み）
自衛隊		救急搬送
山口県消防本部		救急車・救急隊員の常駐または待機 傷病者の救急搬送

【23WSJ開催了解に向けた厚生労働省への協力要請内容（抜粋）】

3. ジャンボリー会場における交通、消防、医療、防災体制の確保

平成27年の23WSJでは約3万人、平成25年の16NJでは1万人以上の青少年が世界各国から参加することから、会場及び周辺の良い環境提供のため、交通、消防、救急医療体制整備、災害時の防災支援等の協力をお願いしたい。

15. 伝染病等の感染症に関する発生動向の情報提供等

2015年の23WSJには161の国と地域から約3万人、2013年の16NJには40カ国以上の国と地域から1万人以上が参加する大規模な国際行事となることから、国内外からの参加者に対するHIV/AIDS、伝染病、風土病等の防疫対策等に対する注意点や留意事項等について、指導をお願いしたい。

参 考

【日本連盟医療チーム】

平成21年度から財団法人ボーイスカウト日本連盟(当時)承認の任意団体として発足し、スカウト活動における健康管理対策強化を目的に、加盟員の医療関連職および医療行政・法律の専門家により「日本連盟医療チーム」が編成され、野外活動における医療行為の調査研究、大規模野営行事における救護体制の構築、海外派遣における救護体制の研究・健康管理に関する助言等について活動している。平成23年度からは公益財団法人ボーイスカウト日本連盟理事会の支援機関として位置づけられた。(平成24年5月現在61人)。

【第15回日本ジャンボリー 救護所受診者総数】

科 目	疾患種別	7月31日		8月1日		8月2日		8月3日		8月4日		8月5日		8月6日		8月7日		8月8日		8月9日		初診 小計	合計
		初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診		
内 科	感冒疾患	1		5		10	1	13	4	10	2	6	1	8		14	1	16	3	3	2	86	100
	扁桃腺炎	1		2		8	3	4	2	10	3	8	2	5	1	4	1	2			1	44	57
	胃・腸炎			3	1	13	1	15	1	16	1	19	2	14	4	12	4	17	4		2	109	129
	下痢					1		1		1	1					1						4	5
	便秘	1				4		3		9	1	14	1	9		8	1	2				50	53
	脱水	1		1		3		5	2	2	1	6	2	5	3	6		2				31	39
	熱中症	2		1		2		16	1	5	3	28	1	6	2	20	1	1	4	1		82	94
	頭痛	1		4		12		6		12	1	6	1	3		3	2	3	1			60	55
	上気道炎			1		2		3		6	1	5		2	2	2		1	1	1		23	27
	疲労等			3		8	1	11		10		9		5		3	1	3				52	54
	高血圧	1		1	1							1									1	3	4
	てんかん			1				2							1						1	5	6
	喘息			1		1	1	2		1		1						2				8	9
	過換気症候群						4		2	2	1	1	2	1				3				12	16
	内科系その他	1		4		9		4	2	5	4	3		4		2	2	3	2			35	45
内科小計	9	0	27	2	73	7	89	12	89	20	107	11	64	13	75	14	55	15	6	5	594	693	
外 科	けがによる創傷			14		15	6	9	10	7	14	6	11	5	15	4	14	4	18			64	152
	他創傷	1		5		7	1	9	5	14	3	5	3	11	3	24	10	14	8			90	123
	火(熱)傷			1		6	2	4	4	5	3	12	3	8	8	6	8	4	10		1	46	85
	打撲・捻挫	4		4	1	2		9	1	8	1	8	1	19	4	24	8	10	3			88	107
	骨折/疑い					1				2					1			1				5	5
	外科系その他	1		1		5		5		6	1	3	2	4	2	11	1	1	1			37	44
外科小計	6	0	25	1	36	9	36	20	42	22	34	20	48	32	69	41	34	40	0	1	330	516	
皮 膚 科	湿疹・かぶれ								1		1		2		3			1				7	8
	虫刺され	36	3	56	10	138	20	137	31	110	32	64	28	48	23	30	13	21	16	2	1	642	819
	日焼け	1				3		2	1	8		28	2	7	2	3	2	3	3			55	65
	皮膚科その他	1	1	6	1	2	1	24	2	11	5	19	1	13	6	14	5	12	6	1		103	131
皮膚科小計	38	4	62	11	143	21	163	34	130	37	112	31	70	31	50	20	36	26	3	1	807	1,023	
そ の 他	耳鼻科合計	1			3		2			1	2				4		3	1				15	17
	眼科合計				1		4		2	2	2			6		7	1	8	3	1		31	37
	歯科合計			1		2		4	1	2		5		5	2	2		2				23	26
	その他			2			8		4		5		5		8	2	3				1	35	38
	その他小計	1	0	3	0	6	0	18	1	8	3	14	0	16	2	21	3	16	4	1	1	104	118
疾患総合計	54	4	117	14	258	37	306	67	269	82	267	62	198	78	215	78	141	85	10	8	1,835	2,350	

第15回日本ジャンボリー（平成22年・静岡県朝霧高原開催）の医療体制

〈場内医療体制〉

● 診療体制

大会本部の安全・救護部内「救護所」にて約40人体制

医師19人（内科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、小児科ほか）、歯科医師5人、看護師19人、臨床検査技師1人、薬剤師2人、カウンセラー1人、庶務35人（交代参加を含む）

医師、看護師、庶務をそれぞれ班編成し、24時間を5つの時間帯（06-09、09-13、13-17、17-21、21-6）に分け、日勤・夜勤帯の2交代制で診療

各班は、医師1~2人、看護師2~3人、庶務2~4人。中央救護所では常時3班が診療にあたる

● 施設・設備

中央救護所（無床診療所の開設届出）

7月31日から8月9日の間24時間体制で開設（参加者入場前日から退場日まで）

電話、FAX、携帯電話、無線機、血液検査機器、大型・普通救急車各1台、歯科診療車1台他
東救護所、西救護所

参加者の生活地域の拠点として2か所設置、生活時間帯の6時~9時、17時~21時の間で開設
南プログラム出張救護所、北プログラム出張救護所

プログラム実施場所の拠点として2か所設置、プログラム実施日の9時~17時の間で開設
アリーナ出張所

開閉会式等の全体行事実施日・時間帯に開設

● 場外搬送体制

陸上自衛隊用車両2台、大会の業務用車両5台

富士宮市消防本部へ市内病院への緊急搬送について依頼した他、静岡県と会場周辺でのヘリの発着について事前協議を行った

〈傷病者の状況〉

● 参加人員総数（オープン参加者も含む）19,382人に対し、総受診者数は延べ2,350人（初診1,835人、再診515人、受診率は約12%）、一日最大373件（延べ人数の15.9%）

● プヨなどによる虫刺症が819件（受診者の3分の1）、ナタによる外傷は152件

● 中央救護所で確診が困難な患者や診療範囲を超える患者18人については支援病院に搬送

ナタによる外傷9人、心筋梗塞1人、骨折の疑い2人、虫垂炎の疑い2人、頭部打撲2人、てんかん1人、外耳道異物1人、その内入院を要したものは1人、自宅に帰って治療は4人

● 傷病者のうち、途中帰宅が4人、内2人は外部医療機関を介さず中央救護所から直接帰宅

〈支援機関〉

● 富士宮市立病院

二次救急受入対応、保険証コピーによる診療対応、診療内容の同行指導者への伝達、医薬品・診療材料等の手配支援、医療廃棄物処理への協力

● フジヤマ病院（会場最寄病院）、富士宮市救急医療協会富士宮市救急医療センター（休日診療）

保険証コピーによる診療対応、診療内容の同行指導者への伝達

● 富士宮市医師会、富士宮市歯科医師会

会員への協力依頼、保険証コピーによる診療対応（集散時・場外プログラム時）、万が一の対応

● 富士宮消防署 ※消防・防災を含む協力依頼

救急搬送（会場最寄出張所の大会期間中の人員補強）

● 陸上自衛隊第1師団

傷病者搬送

16NJにおける「セーフ・フロム・ハーム」の扱いについて (導入検討資料)

1. 日本連盟におけるこれまでの経緯

2010年8月の15NJにおいて大会本部要員サービス部が「チャイルド・プロテクション (スカウトを危害から守る) 方針」の説明と同意書提出を大会本部要員研修の一つとして取り上げた。さらに翌年の2011年3月には「チャイルド・プロテクションへの取り組み」に関する通達が日本連盟コミッショナー名で配信され、成人指導者に対してチャイルド・プロテクションの重要性の周知、ならびに成人指導者研修での参加者への意識喚起等の取り組みについて明示された。

2. WOSMにおけるセーフ・フロム・ハームの取り扱い

「子どもの権利条約 (UN Convention on the Rights of the Child(CRC)) が国連で採択された後、WOSMは1990年パリの世界会議において各国連盟に対し「国連決議「子どもの権利条約」についてすべての指導者への理解を進め、国家に対しこの条約を批准するための努力をすること、また成人や子供たちにも啓蒙すること」との決議を行なった。そして2002年にギリシャ、テサロニキで行われた第36回世界スカウト会議において「Keeping Scouts Safe From Harm」が採択された。

2007年に英国で開催された21WSJでは、チャイルド・プロテクションの教育プログラムがIST(国際サービスチーム)メンバーに対して実施された。2011年にスウェーデンで開催された22WSJにおいてはセーフ・フロム・ハームの教育プログラムが同じくIST(国際サービスチーム)メンバーに対して実施された。

また2011年の22WSJにおいて「Keeping Children Safe From Harm」のカンファレンスが開催されこの問題の重要性が再確認されるとともに、21WSJと22WSJにおいて用いられたe-learningのシステムと同様なプログラムがWOSMのウェブサイトにおいて「New e-learning on Keeping Scouts Safe From Harm」として利用できるようになった。このe-Learningシステムの中でWOSMはアメリカ連盟、イギリス連盟、アイルランド連盟等のこの問題に対するプログラム展開を紹介している。

3. チャイルド・プロテクションとセーフ・フロム・ハームの違い

「チャイルド・プロテクション」では「子供の権利条約」を基に18歳未満の青少年を対象として虐待 (Abuse) として「いじめ」、「身体的虐待」、「精神的虐待」、「ネグレクト (無視)」、「性的虐待」、「搾取」を問題とし、虐待から子供を守ることに重点を置いている。

これに対し「セーフ・フロム・ハーム」では虐待 (Abuse) ; 「いじめ」、「身体的虐待」、「精神的虐待」、「ネグレクト (無視)」、「性的虐待」、「搾取」は様々な状況で起こり得るものとして、成人とスカウトの間、スカウトとスカウトの間、成人と成人の間の問題であるとしている。そしてWOSMならびにアメリカ連盟、イギリス連盟、アイルランド連盟等では、虐待を防ぐための教育プログラムとしての意味合いが強調されている。虐待とは何かを具体的に学ぶとともに、そのような場面に遭遇した場合どの様に対処すべきかについて学習出来るようなプログラムが提供されている。さらにアメリカ連盟やイギリス連盟では虐待を発見した時の対処の仕方・虐待を防ぐための行動基準や、虐待をしたと疑われないための行動基準をも明示している。

4. セーフ・フロム・ハームに関する教育プログラムの16NJでの展開について

16NJにおいてはWOSMの「New e-learning on Keeping Scouts Safe From Harm」を基にISTメンバーならびに参加隊指導者の方々に虐待とは何か認識を持ってもらい、虐待が発生した場合の対処法のみならず虐待を発生させないための教育プログラムの導入を予定している。

以上